

# 高速道路の高架区間を活用した洪水時の緊急避難施設の整備

## 【整備の目的】

中之島地域を中心とした長岡市北部の信濃川右岸側に位置する地域は、信濃川と刈谷田川に挟まれた平野部であり、平成16年7月の新潟・福島豪雨では刈谷田川の堤防が決壊し、甚大な洪水被害を受けた地域である。

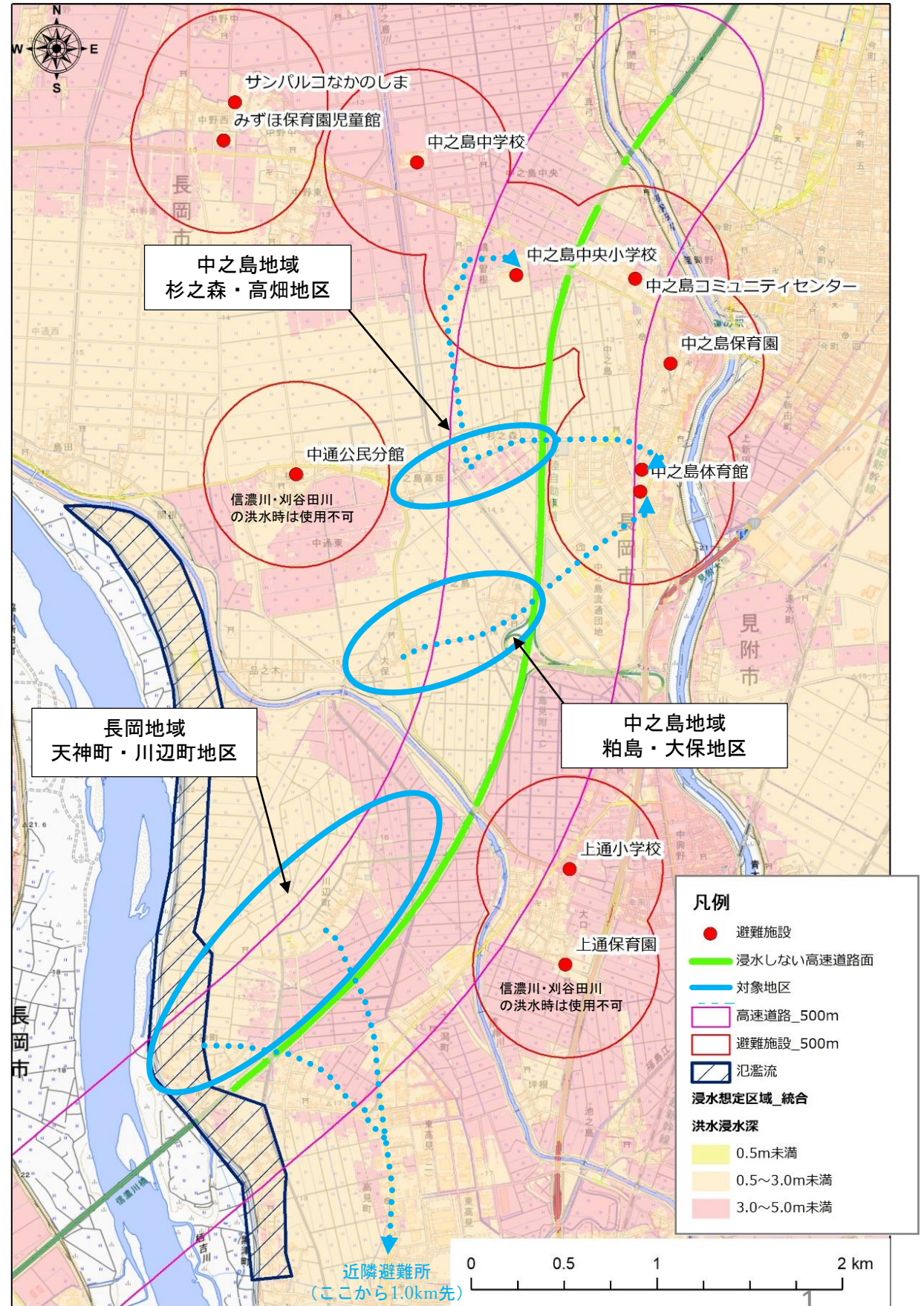
高台の無いこの地域において、高速道路の高架区間を活用した緊急避難施設を整備することにより、避難場所の選択肢を増やし、地域住民の避難時の安全性を向上することを目的とする。



平成16年7月新潟・福島豪雨被災状況（中之島地域）

## 【整備箇所の選定】

徒歩での避難可能距離を500mと設定し、指定避難所から500m以上離れ、高速道路から500m以内に位置する、中之島地域の杉之森・高畑地区及び粕島・大保地区と長岡地域の天神町・川辺町地区を施設整備の対象地域とした。



信濃川洪水ハザードマップ



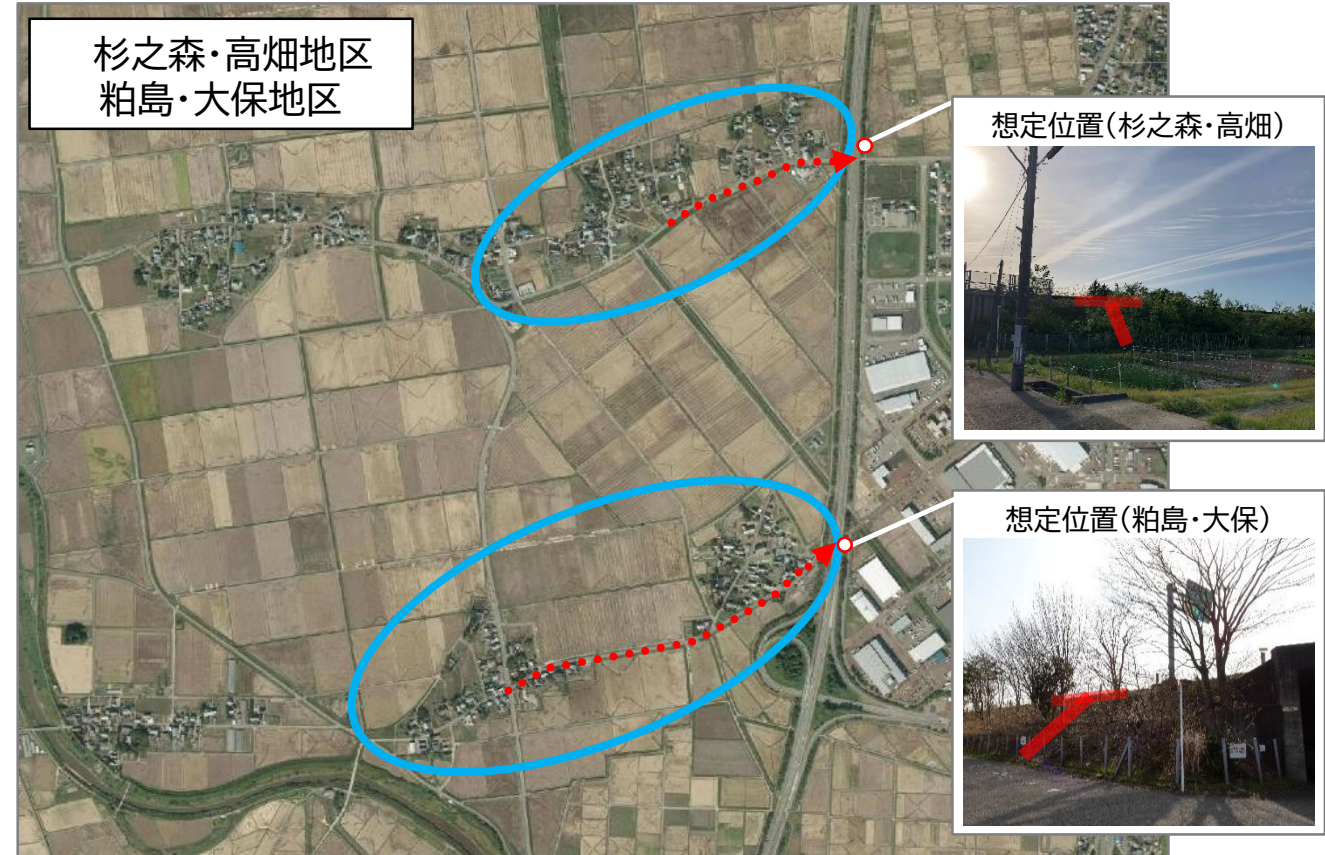
# 高速道路の高架区間を活用した洪水時の緊急避難施設の整備

## 【施設の概要】

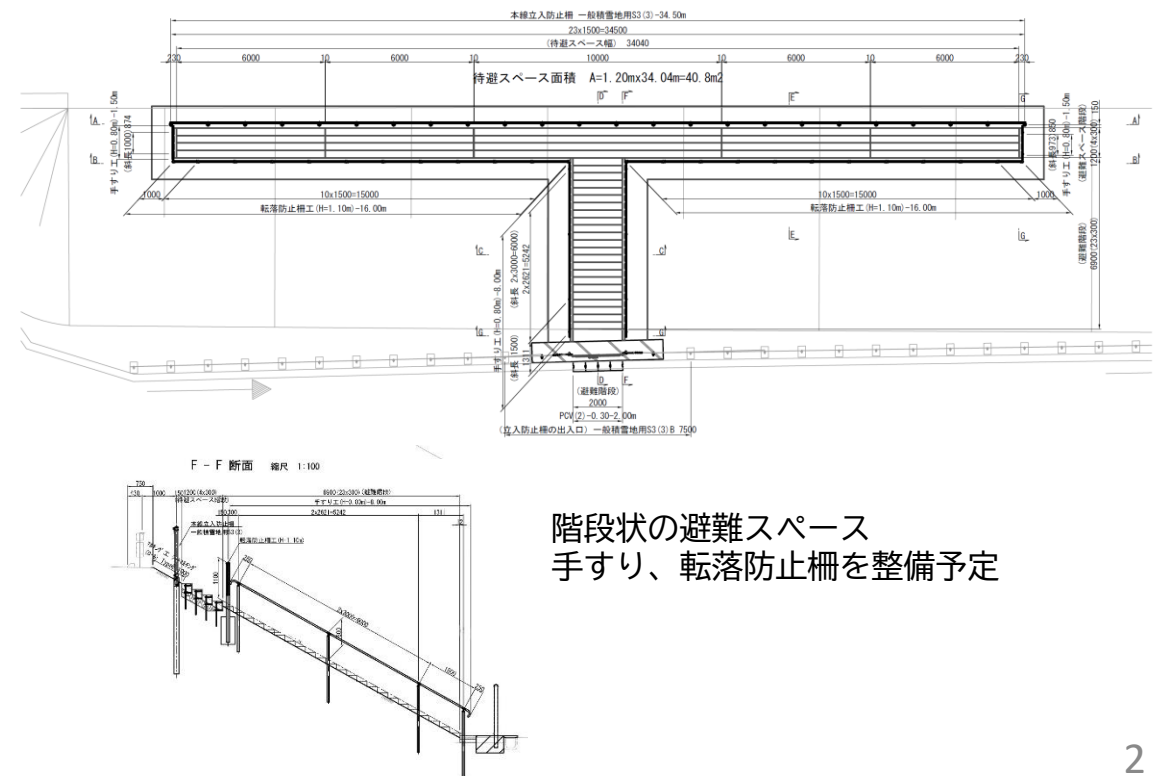
- 設置位置  
各地区の幹線道路と高速道路の交差点
- 整備内容  
下記イメージを想定
- 収容人数  
各地区40人程度  
(杉之森・高畑地区 / 粕島・大保地区)



施設のイメージ (仙台東部道路の事例)



## (整備イメージ)



階段状の避難スペース  
手すり、転落防止柵を整備予定